

プラスチック資源循環のための 化学物質管理に関するシンポジウム

主催：国立研究開発法人産業技術総合研究所 安全科学研究部門／サーキュラーテクノロジー実装研究センター
国立研究開発法人国立環境研究所 資源循環領域／物質フロー革新研究プログラム PJ2

プラスチックは、我々の生活の様々な場面で必要不可欠な素材として利用されています。しかし、その持続可能な利用に向けては、サーキュラーエコノミーの実現や海洋プラスチック汚染防止といった観点から、プラスチックの資源循環を確立することが喫緊の課題となっています。そのような中、プラスチックの資源循環を阻害する要因の一つとして、再生プラスチックに含有される化学物質に対する懸念が挙げられており、その適切な評価・管理が求められています。このたび、関連する行政・事業者・研究機関における課題意識や取り組みの現状を紹介し、広く参加者と共有・議論することを目的としたシンポジウムを企画しました。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

令和 7 年

7 月 24 日 木

13:00～17:00 (受付開始 12:00)

参加費
無料

開催場所

コングレスクエア
日本橋ホール A・B

〒103-0027 東京都中央区日本橋 1-3-13
東京建物日本橋ビル 2F

<https://congres-square.jp/nihonbashi/access/>

開催方法

現地開催
定員 150 名

申込締切

令和 7 年 7 月 21 日 月

参加申込

下記 URL または
下の QR コードよりお申し込み下さい

<https://forms.office.com/r/x0SMJ1zfjh>



問合せ先

シンポジウム事務局

M-replasymposium@aist.go.jp

プログラム

開会

成長志向型の資源自律経済の確立に向けた取組について

経済産業省 イノベーション・環境局GXグループ 資源循環経済課 専門職 川口 太生 氏

プラスチック資源循環と 化学物質管理にかかる 行政の取り組み

化学物質管理とプラスチック資源循環について

～経済産業省における取組を中心に～ (仮題)

経済産業省 産業保安・安全グループ化学物質管理課 化学物質安全室 室長 内野 絵里香 氏

化学物質管理とプラスチック資源循環について

～環境省における取組を中心に～ (仮題)

環境省 大臣官房環境保健部化学物質安全課 水銀・化学物質国際室 室長 高木 恒輝 氏

プラスチックに含まれる 添加剤等の役割

プラスチック添加剤の役割と安全性、化学業界による自主的な取組の紹介 (仮題)

一般社団法人日本化学工業協会 常務理事 須方 哲夫 氏

プラスチック資源循環に おける化学物質管理の ための情報

用途情報と物質の情報が紐づいたデータ基盤の重要性

ープラスチック循環における懸念化学物質の特定に向けて

国立環境研究所 資源循環領域 資源循環社会システム研究室 主幹研究員 小口 正弘

リサイクラーから見た再生プラスチックの課題

石塚化学産業株式会社 代表取締役会長 石塚 勝一 氏

休憩 (14:35～14:50)

リサイクル現場からみた化学物質課題と循環促進への道筋

～再生プラスチックの可能性と責任～

株式会社富山環境整備 イノベーション推進室 室長 今井 麻美 氏

再生プラスチック中 化学物質の実態把握

プラスチック循環へ流入する樹脂添加剤：実測から見てきた課題

国立環境研究所 資源循環領域 試験評価・適正管理研究室 主幹研究員 梶原 夏子

再生プラスチックペレットの分析事例

産業技術総合研究所 安全科学研究部門 暴露計測研究グループ 研究グループ長 小倉 勇

再生プラスチックの 用途と化学物質暴露・ リスク評価

プラスチック循環制度のグローバル潮流とサステナブル製品設計の考え方

花王株式会社研究開発部門 研究主幹/研究戦略・企画部 部長 藤井 健吉 氏

再生プラスチックに含まれる物質の暴露・リスク評価手法の考え方

産業技術総合研究所 サーキュラーテクノロジー実装研究センター
指標構築・データ基盤研究チーム 主任研究員 小島 直也

再生プラスチックの適切な利用を促進する化学物質リスク管理手法の開発

産業技術総合研究所 サーキュラーテクノロジー実装研究センター 副研究センター長 小野 恭子

総括

東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻 准教授 中谷 隼 氏

閉会